

楓園

ISSUE
2021 1/31

91

FÛEN [フウエン]
Toyo Eiwa Jogakuin
Public Relations Report

[巻頭特集]

ひかりにあゆめよ

— 希望に向かう東洋英和の人々の^{ことば}道 —

東洋英和女学院
東洋英和楓の会

新体制が始動しました

増淵 稔 院長就任 高橋 貞二郎 副院長就任

「敬神奉仕」の精神、卒業生や保護者の方々をはじめ東洋英和に関わる全ての人のつながりを大切にしながら、学院の発展のために尽くしたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

高橋 貞二郎 副院長

1963年生まれ。1991年東京神学大学大学院前期課程修了後、日本基督教団富士見町教会で伝道師、牧師として働く。1997年東洋英和女学院中高部聖書科教諭として就任。2020年12月1日副院長就任。現在、学院宗教部長、学院理事・評議員、日本基督教団鳥居坂教会協力牧師。

環境が大きく変化する中、「敬神奉仕」の建学の精神を堅持すると共に、変化に対応するしなやかさを併せ持つことで、学院のさらに豊かな未来が開かれるよう努めてまいります。

増淵 稔 院長

1943年生まれ。1966年東京大学法学部卒業後、日本銀行入行。1998年から2002年まで同行理事。2004年から2019年まで日本証券金融株式会社代表取締役社長、取締役会長を歴任。2005年より東洋英和女学院理事・評議員、2018年理事長就任、2020年11月1日院長就任。日本基督教団井草教会会員。

2020年10月30日開催の理事会において増淵稔理事長が新院長（理事長兼任）に選任され、11月1日に就任しました。また、2020年11月27日開催の理事会において高橋貞二郎新副院長が任命され、12月1日に就任しました。東洋英和女学院の新体制を担うお二人の就任にあたっての言葉とプロフィールをご紹介します。



聖書の言葉

あなたがたは世の光である。(中略) ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。

(マタイによる福音書 5章 14-15節)

この言葉は、主イエスが山上の説教を聞いている人々に宣言なさった言葉です。当時の家屋ではともし火が一つあれば部屋中が明るくなりました。それを升の下に置いたのではともし火としての役割は果たせません。燭台の上で、自分の身を燃やし続けるのがともし火です。それは、自分が輝いて賞賛されるためではありません。主イエスからの光を受けて、周囲を照らすために用いられることです。光である主イエスに用いられて、神と隣人に仕える者でありたいです。

学院評議員、大学非常勤講師 田中 かおる (安行教会牧師)

[巻頭特集]

ひかりにあゆめよ

— 希望に向かう東洋英和の人々の道 —

どんな困難にあっても自分を支える力を与える言葉や絆があります。
困難の中でも懸命に社会や人とつながり、
かけがえのない生活を守ろうと力を尽くした東洋英和の人々の
希望のひかりに満ちた言葉や永久に色褪せない精神を伝えます。



神を信じ神を祈る時にのみ
我々は勇気と力を与えられる。

元院長・理事長の
長野彌氏が寄稿した言葉
（『東洋英和新聞』第57号「卒業生に贈る」1958年3月13日発行）

私は一歩先すら見えない
1年の日々を歩む時に。
しかし過去はなお神の守りの中にある。
未来は神の慈しみが明らかにするだろう。
そして遠く暗く見えるものは
近づくとも明るくなっていくかもしれない。

（イギリスの女流作家、ミュージック Dinah Maria Mulock（1826-1887）の詩
『神知りたもう』より）

I see not a step before me-
As I tread the days of the year.
But the past is still in God's Keeping.
The future His mercy shall clear,
And what looks dark in the distance
May brighten as I draw near.



創立者、初代校長のミス・カートメルが自分の聖書に書き込んだ詩
日本での厳しい宣教生活を乗り越える力の一つになったと思われる

雨の後に虹は出ます。
恵みの虹を信じましょう

1898年に2回の台風により、
建築中の校舎が2度倒壊した時の校長、
ミス・ブラックモアの言葉



新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な中、
人々の命を守るために奮闘している医療従事者の
皆様、人々の社会生活を維持するために尽力を続
ける全ての皆様へ、感謝申し上げます。

東洋英和女学院

取材は2020年10月に実施しました。

Contents

P01 増淵 稔 院長・高橋 貞二郎 副院長就任

[巻頭特集]

P02 ひかりにあゆめよ — 希望に向かう東洋英和の人々の道 —

From the Garden of Kaede

P09 楓の園から [学院 NEWS]

P17 Cartmell's Prayer [宗教教育委員会]

P19 教員紹介

P21 東洋英和楓の会

STORY

社会を支えるために
働く東洋英和の人々

コロナ禍でも明日に一筋のひかりを求め、
懸命に自分の責務を果たし続ける人たちがいます。
そんな人々の力となる言葉を教えてもらいました。

池澤 裕子さん

1989年高等部卒業。都内総合病院整形
外科部長。地方の病院勤務などを経て、
2016年から現職。中高時代はスキー部副
長を務め、現在は小学部のスキー教室に
随行し参加者の健康をサポートしている。

STORY

01

一筋のひかりに導かれ新しい未来へと歩んでゆく

池澤さんを支える言葉

人は生かされている。
神様からいただいた命

「人は自然に帰りなさい。そして自然を大事にしなさい。原点に戻って、見つめ直しなさい。物にあふれ、物を粗末にして、していないものは捨てていく。そんな事をしていたら、皆滅びのだよという神様からのメッセージなのかなとも思います。」
新型コロナウイルス感染症で亡くなった、デザイナー・高田賢三氏がコロナ禍の中で寄せた手記です。緊急事態宣言中、人通りのない道路でふと見あげると、青空や新緑を目にして自然は季節通りに進んでいると感じ、人間はやはり自然の中では生かされているという思いを持ちました。自分も足下を見つめ直し進みたいと思います。

※2020年10月6日(火) 読売新聞
「コロナ禍のバリエーション」より

今回の経験を通して診療に関わ
私を氣遣う言葉をいただき胸が熱
くなりました。

私は、幼稚園から高等部まで
東洋英和で過ごし、礼拝や
先生方のお教えによって、人々の
ために力を尽くすという敬神奉仕
の精神が自然と身につき、医師へ
の道に進みました。整形外科を選
択したのは、中高部のスキー部で
の怪我の経験がきっかけでした。
新型コロナウイルス感染者が増
えてきた2020年3月末、勤
務する病院内で感染が発生し、状
況は一変しました。今までの診療
が一切できなくなりました。通院
患者さま一人ひとりに電話で症状
を伺い、リハビリの仕方等を説明
しました。少しでも安心していただ
けるよう、患者さまに積極的に
お声掛けをして治療いたしました。
患者さまからは「自身も不安な中、
私を氣遣う言葉をいただき胸が熱
くなりました。」
今回の経験を通して診療に関わ
る看護師や事務員等の方々、調理
や清掃といった院内の生活すべて
を支える方々のありがたさを強く
感じました。また医師として常に
患者さまに心を配り医療を提供す
る側でありましたが、今回患者さ
ま、物心両面から支援をしてくだ
さった企業や個人の方々、また東
洋英和の先生方・友人から多くの
真心をいただきました。私の家族・
小さな姪たちに何度も励まされま
した。感謝で支えあっていること
を改めて心から感じました。
今はまだ先の分らない厳しい
状況ですが、行く先に一筋のひか
りがあると思います。神様からい
ただいた命を大切に、新しい未来
へ向かって、この危機を乗り越え
ていかなければならない、乗り越
えていけると確信しています。

つらい時だからこそ、労を厭わず人に丁寧に接する

高瀬さんを支える言葉

無理をせずに自分らしく、 できることをしたい

東洋英和で教えられた「敬神奉仕」という言葉を、中高部にいた頃はよく理解できていませんでしたが、今思えば「自分で考え、自分にできることをしたい」と自由に考え、行動させてもらえた経験が今に生きています。復職したい社員が会社にうまく適応して働けるようにサポートする中で、「貢献しなければ」と思い詰める人を見ます。しかし「挑戦」と「無理」は別ものです。誰も会社の中で自分の思うようにできないこともあります。そんな時、その人が今できることを見つけ、その人らしく生きられる道を探せるような支援をしたいと思っています。

現在、心理士として企業に所属しています。精神疾患などで休職した社員が復職する際、回復したかどうかを診断する産業医・看護師とチームで対応し、精神科医と共にメンタル面での相談を受けるなど社員個人や彼らをサポートする事業所へのアドバイスを行っています。

私の所属先は東京にあり、東日本全体の事業所を担当しているため、新型コロナウイルス感染症拡大の中で診察や面談を「リモートでよいのでは」とおっしゃる遠方の方が多く、対面の大切さを理解していただくことに気を配る日々です。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響でメンタルを病む人が増えたと思われがちですが、実は大きな変化はありません。むしろ、すべての人が共通して苦境に立たされている現状に、「みんなつらいのだから私もがんばらねば」と発奮し、復職

される方が目立ちます。それは喜ばしいことですが、私は、無理をしなくて自分に向いたことをし、自分の得意な能力を伸ばせばいいと思っています。

大学院時代には心理面接を担当させていたとき、精神疾患を抱えたり、お仕事や恋愛の問題に苦しんでおられる方々とお会いしましたが、指導してくださった先生のアドバイスを受けながら「できることをしたい」と伝えることができた経験が今につながっています。

また、中高部で先生から「労を厭わず行動しなさい」と言われていたことも思い出します。そんな先生方ご自身が労を厭わず、一人ひとり異なる私たちに対し、オーダーメイドのように真摯に向き合ってくださいました。私も相談者一人ひとりに対し、丁寧に対応していきたいと考えています。

STORY

02

高瀬 寛子さん

中学部から大学院まで東洋英和で学ぶ。1998年大学院修了。公認心理師、臨床心理士。スクールカウンセラーなどを経て、パナソニック健康保険組合健康管理センターメンタルヘルス科勤務。





STORY
04

敬神奉仕を心の支えに 神のため人のために

知 知的障がい者支援施設には体が弱い方も入所されているので、新型コロナウイルス感染症発生当初は情報収集、衛生用品の確保、感染した場合のコミュニケーション作成などに追われていました。

緊急事態宣言中は、通所の方には自宅待機を依頼しましたが、日常生活の変化に弱い方もおり、ご家族対応も含め苦慮しました。宣言以降、入所の方の外出や家族との面会は10ヶ月以上中止されています。そのため、不安を与えず施設内で楽しんでもらえるよう努めています。利用者

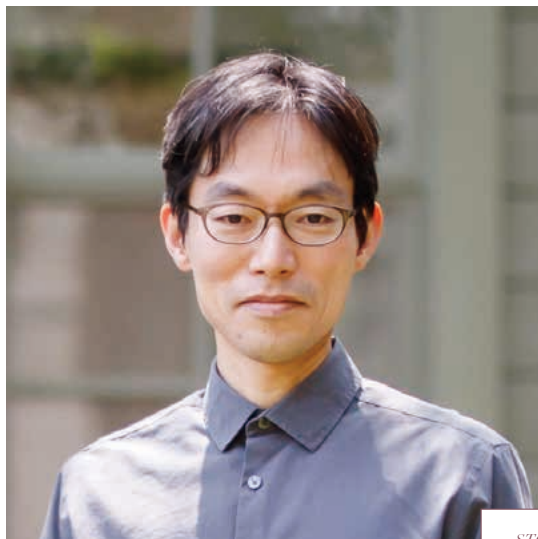
下畑さんを支える言葉

敬神奉仕

毎日神様に感謝とその日の願い事をしてしています。それでも、何のために仕事をしているのかと思悩む時は、すべては神のため、人のために尽くす、という敬神奉仕の精神に必ず立ち戻るようにしています。

下畑 成江さん

1988年高等部卒業後、短期大学保育科、保育専攻科を1991年に卒業。知的障がい者支援施設、社会福祉法人 南風会 シャロームみなみ風で支援主任を務める。



STORY
03

互いのスタイルを 尊重し合える風潮が育つように

児 童精神科医師として病院での診療に当たっていますが、普段学校でストレスを抱えている子どもたちには、新型コロナウイルス感染症の影響で休校となったことでかえって調子が良くなるなどの傾向がありました。コミュニケーションが苦手だと思われる子どもたちこそ、オンラインによる新たなコミュニケーションスタイルによくなじんでいると実感できました。

オンラインが向いている人、対面が向いている人、人それぞれですが、今回の自粛生活を機に、お互いのコミュニケーションスタイルを尊重する風潮が育つことを願っています。そして子どもたちが自分に適したスタイルを模索していけるようにサポートしたいと思っています。

篠山さんを支える言葉

詩「病者の祈り」 A CREED FOR THOSE WHO HAVE SUFFERED

これといって、支えとしている言葉があるわけではありませんが、今回改めて考えてみて、有名な「病者の祈り」は自分が求めたいことを表してくれている気がし、困難な状況で励みになると思います。

篠山 大明さん

1982年かえて幼稚園卒園。東京大学理学部卒業後、児童精神科医を志し改めて医学部に進む。信州大学医学部精神医学教室准教授、同学附属病院こどものこころ診療部医師。



STORY
06

子どもを守るために気を張り 当たり前を見直し続けた日々

新型コロナウイルス感染症発生以降、子どもと接する仕事である保育士は、他の職業に比べ、日々の行動に気を張る生活が続きます。保育者や教育関係者の感染がニュースなどで大きく取り上げられる事態もとても苦しく思いました。マスク着用は、保育者の表情が隠れ、幼い子どもにまなざしや感情を読み取りづらくさせ、困難を感じることもありました。マスク着用慣れつつあることに怖さを感じるとともに、このような生活をいつまで続けなければよいのかと不安になります。

一方で、登園自粛家庭の多い期間は、時代や社会の動きを意識した保育の在り方を考えたり、行事や保育内容が子どもの成長発達に合ったものか話し合うなどの時間が多く持たことは有意義でした。本当に必要なものはそんなに多くはない。今回の困難な状況の中で気付いたのはこのことでした。当たり前だと考えていたことは必ずしもそうではなく別の方法もある、と新しい視点を持つことができました。これからも、先入観を持たず、目の前の物事に向き合いたいです。

藤原さんを支えるもの

身近な人々の思いやり

「大変ですね」と温かい言葉をかけてくださる保護者も多く、困難を一緒に乗り越えていこうとする雰囲気の中、子どもたちの笑顔や職員同士の「迷惑はかけあって」といった言葉に助けられました。

藤原 由佳さん

2003年大学人間科学部人間福祉学卒業。社会福祉法人 厚生館福祉会 宮前空翠保育園に勤務し、現在は主任保育士として園長を補佐し、保育士をまとめる役割を担う。



STORY
05

困難な状況でも優しく前向きな 英和の仲間に支えられて

麻酔科の医師として働いていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で手術麻酔の仕事が減少した代わりに、麻酔科管理の集中治療室が新型コロナウイルス感染症重症患者専用病棟となり、2ヶ月ほど専従勤務になりました。感染も怖いですが、報道と現場のギャップの大きさや、職員同士でもコロナ治療に携わっているか否かで考え方が異なり悲しい思いもしました。

敵な食器を送ってくれた友人や、自分も必要なマスクやフェイスシールドを送ってくれた同業の友人。病院に物資が届くチャリティ先を探してくれた海外在住の友人も。英和生たちの、相手に何が必要なのかを考え、具体的な支援を行う優しさに涙があふれ、困難な状況にあっても前向きな姿勢に元気をもらいました。何が起きるか分からない時代ですが後悔のないよう、周囲への感謝を忘れずフレキシブルに生きていきたいと思います。

田中さんを支える行動

迷ったらつらい方を選ぶ

水泳が苦手で中学部2年生の野尻夏期学校では4段階の4番目、赤帽子でした。高等部に進み、キャンプリダーを志願して参加した訓練キャンプで水泳が上達した経験がこの行動につながっています。

田中 亜紗美さん

1999年高等部卒業。帝京大学医学部附属病院麻酔科医師。看護師を4年間経験した後、に大学で学び、都立病院での初期研修を経て医師に転身。医師となって6年目となる。

あなたが勇気をもらった行動や言葉は何ですか？

栗木さんが勇気をもらった行動や言葉

風立ちぬ、いざ生きめやも
(ポール・ヴァレリー／フランスの詩人)



中学部

中学部 2年

栗木 心音さん

100年前に生きた詩人の言葉。すっと立ち上がり歩み出した人の後ろ姿を思わせる、力強い「生きる」というメッセージに私は心打たれた。時代という名の風に吹かれ、彼は確かに生きていた。ウイルス、災害、差別を連れてきた2020年の風。今をともに生きる人たちと、この時代を乗り越えていける強さを私も育みたい。「今風は吹いた。さあ、共に立ち上がろう」

桑原さんが勇気をもらった行動や言葉

医療従事者への感謝と患者を
励ますために演奏するバイオリニスト



小学部

小学部 6年

桑原 希和さん

新型コロナウイルス感染症が拡大していたイタリアにおいて、女性バイオリニストが病院の屋上で演奏の様子が話題になりました。医療従事者への感謝と患者が再び音楽を楽しめるようにとの願いを込めた演奏を見て勇気をもらいました。祖母や母のお手伝いをして少しでも元気をあげるようにしました。これからも人に親切にして、周りの人々を元気にしたいです。

陸さんが勇気をもらった行動や言葉

感謝だけは忘れてはダメ。感謝すると、
嬉しい、よかったって、明るくなれるから
(陸さんの祖母)



高等部

高等部 3年

陸 杜緒子さん

休校中に祖母に言われた言葉です。祖母の言葉で、人と会うことや自由な外出がままならない中でも、その状況と自分がどう向き合うかで、感じ方や見える世界が変わると気がきました。それは他者を思いやる隣人愛や感謝の大切さを説く東洋英和の教えとも通じると感じます。私も自分に何ができるかを考え挑戦することで今の試練を乗り越えたいです。

勝見さんが勇気をもらった行動や言葉

自分と同じような経験をしている病気に
なった人たちに勇気を与えたい
(池江璃花子／水泳選手)



小学部

小学部 6年

勝見 花香さん

水泳選手の池江璃花子さんが、白血病から回復した時の言葉に勇気をもらいました。私も水泳を習っていますが、病気を克服してきつい練習を再開されたことは本当にすごいと思います。自分のことだけでなく、病気で苦しむ人々のことを思いやる池江さんの思いは敬神奉仕にもつながります。私はつらい時があっても、前向きに生きる池江さんを目標にしたいです。

常に前を向いて進む人の言葉や行動は、自分が立ち上がるための力になります。
東洋英和で学ぶ児童・生徒や学生たち、卒業生の方たちの
勇気もらった行動や言葉を紹介します。

服部さんが勇気もらった行動や言葉

お客さまからの温かいエール



卒業生

大学人間科学部人間科学科卒業（2011年3月）
東日本旅客鉄道株式会社勤務

服部 友美さん

新型コロナウイルス感染症対策として、勤務している鉄道会社では、社員の発意で除菌作業を行っていました。お客さまに安心して快適にご利用いただきたい一心でした。その姿に感動したと女優さんがSNSで発信していただき、多くの賛同が寄せられました。自らの意志で取り組んだ行動に温かいエールをいただいたことに深く感謝し、大きな勇気を与えられました。

鶴田さんが勇気もらった言葉や行動

将来の夢に向かって進み続ける
東洋英和の先輩の姿



大学

人間科学部人間科学科心理学専攻3年

鶴田 園さん

何に対しても一歩踏み出すことをためらってしまう私に、東洋英和の先輩たちは将来の夢に向かって全力で進むことの大切さを教えてくれます。自らを深く考察し、社会問題に関心が高いその姿は、かけがえのない自分に気づき他者を愛する東洋英和の学びともつながります。積極的な先輩たちの姿を励みに、私も自分の力で将来の夢をつかみたいです。

白砂さんが勇気もらった行動や言葉

自分なりの働き方について
デザインはしておこう

（養口恵美 / 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、
株式会社ガイアックス（シェアリングエコノミー協会））



卒業生

大学国際社会学部国際社会学科卒業（2017年3月）
株式会社時事通信社勤務

白砂 翔子さん

新型コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務が始まり、自分らしいキャリアとは何か思い悩む中、多拠点生活など未来の働き方を模索し続ける養口恵美氏を知りました。世の中で起きていることにしっかりと向き合い、それに対して自分自身がどうあるべきかを常に考えるその姿勢は東洋英和の学びにも通じ、自身の生き方考え方を振り返る良い刺激になりました。

堀川さんが勇気もらった行動や言葉

過去を変えることはできませんが、
まだ2週間後の未来を変えることができます
（藤井貴彦 / アナウンサー）



大学

人間科学部人間科学科1年

堀川 莉子さん

新型コロナウイルス感染症に関連したニュースで聞いた言葉ですが、私には現在と将来の関係を表していると思えました。それは、終わったことは変えられないけれど、未来は変えられるということです。新型コロナウイルス感染症によってつらいこともあるけれども、現在の行動が未来を変えることになる。私はそれを原動力に今日もがんばろうと思えます。

From the Garden of Kaede



2



1

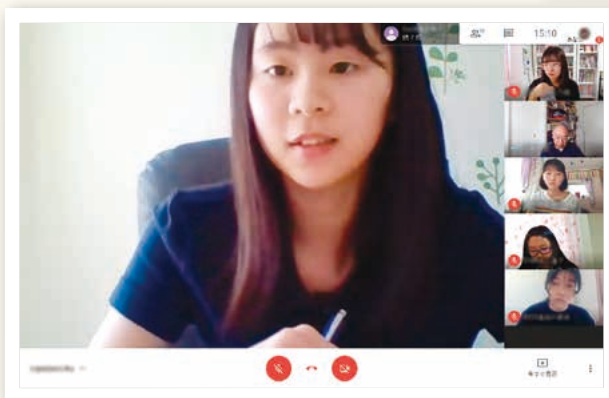
手探りの挑戦

～中高部の休校中の取り組み～

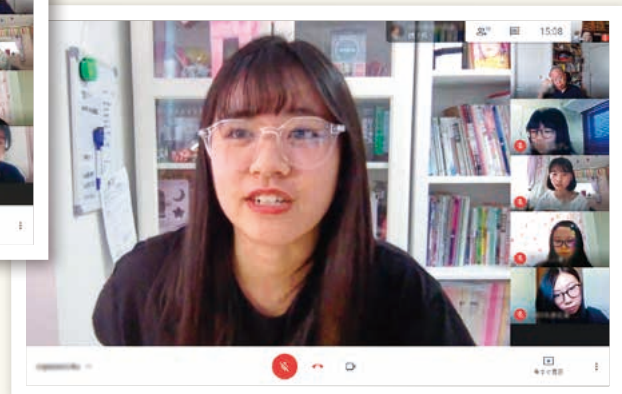
- 1 生徒宅(約1,000名分)へ送付する教科書などの箱詰め作業完了(4月上旬)
- 2 配信授業(学校から生徒へ)
- 3 配信授業(自宅に黒板を準備した先生宅から生徒へ)
- 4・5 双方向のオンライン授業に参加する生徒



3



4



5

ピンチをチャンスに変え、
新しい試みにチャレンジ!!

生徒指導主任 黒澤 路子

今 年度4月からの生徒会活動は、誰もが経験したことのない前代未聞の事態の始まりでした。3月から休校措置により学校全体の活動が制限され、予定は頓挫。例年通りにはいかないことに落胆、不安、焦りを感じたものの、そこは英和生のすごい所。絶妙にしなやかに、新たにできることを見いだしながら活動しています。

Stay Home期間

生徒会役員会は4月下旬からオンラインでスタートし、この状況で全校生徒にどのような発信ができるのか、活動を模索し始めました。オンライン役員会で相談し、データのやり取りを重ね、5月19日に生徒会会報「E・W・A・T・I・E・M・S」とStay Homeを呼びかける動画をHPで配信しました。各クラブもSNSを使って連絡を取り合い、在宅の中でできる活動を行いました。

その姿勢には、自分たちのことだけでなく、ずっと会えない友だちや、まだ制服を着て登校できていない中学1年生に向けての上級生から



の思いが詰まっています。ハンドベル部の「ダイヤモンド・プリンセス号の乗客や乗員の方にもお届けした演奏動画」(*)、高3有志の「校歌を歌おうプロジェクト」で新入生に学校生活を紹介する動画、生徒会役員会の「動画による生徒会入会式」「英和結び」「英和生の心得」、各クラブの「クラブ紹介動画」など、次々とこれまでと違った活動ができました。

生徒会活動再開に向けての模索、
そして楓祭実施

学校生活が少しずつ再開し、生徒



会活動も7月中旬試験後から校内活動の再開が予定され、ソーシャルディスタンスを保ち感染予防をしながら活動をどのように行うのか、顧問の先生も交えて、連日話し合いが持たれました。「対外試合中止」や「飛沫感染予防のため一度に活動できる人数を減らす」など、活動の縮小を余儀なくされましたが、この状況下でできる形を模索していきます。

生徒会の最大の発表の場である楓祭も、それぞれの場で生徒全員が輝いてみんなが主役になる楓祭にしたという楓祭実行委員会の切なる

1. 校歌を歌おうプロジェクト 2. 新入生入会式の生徒会長あいさつ 3. 英和結びの紹介 4. 「ひんやりマスク」の製作 (売上金の一部は Save the Children Japan の PROTECT A GENERATION に寄付)

思いも加わり、「オンライン開催」ではない「楓祭の実施」を目指して準備を始め、無事にみんなの思いが詰まった楓祭を行うことができました。

今後の活動

生徒会長の鈴木明日香さんは、「私たちは『何ができるのか』『何をすべきか』だけを考えて、いろいろな取り組みを行ってきました。思いがけなく従来と異なる年度となった生徒会活動ですが、ピンチをチャンスと捉え、新しい試みにチャレンジできる貴重な機会だと思い、引き続き活動したいです」と語っています。できないことがあったからこそ、人と繋がりながら今できることを精一杯できる幸せと、たくさんの感謝の気持ちを感じつつ、新たな発見や工夫をしながら生徒会活動は続いていきます。



今年の楓祭のテーマは「再生」。
「一時停止からまた前に動き出そう」という気持ちを込めて。
※撮影時のみマスクを外して集まっています。



(*)ハンドベル部の演奏動画はこちらからご覧になれます。



大学における コロナ禍への対応

大学事務部長 石井洋之

皆

様には、大学の事務運営に関し、常日頃のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2020年4月に事務部長を拝命し、今年度の公式行事としては初めてとなります。9月卒業式を対面で行うことができ、卒業生を送り出せましたことは、とても感慨深いことでした。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しは見えませんが、本学におけるこれまでのコロナ禍への対応を振り返りますとともに、今後の指

針の糧としたいと思います。

最下段に「新型コロナウイルスに関する時系列表」の形で、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、と整理してみましたので、ご参照ください。

まずⅠ期は、新型インフルエンザ等対策特別措置法の成立と緊急事態宣言が発出された時期です。皆様の安全と健康を確保することが最優先の使命となりました。三密を回避すべく、卒業式および入学式等の行事は中止とし、学内への入構は原則禁止という中で、授業も一律オンライン開講という苦渋の決断に至りました。学生の皆様の不安に伝えられますよう、オンライン相談窓口による学生支援やオンライン環境整備支援金の給付決定をいたしました。

次にⅡ期は、緊急事態宣言の解除を契機に、本学も「健康と安全」と「学修機会」の両立を施す措置に踏み切りました。①学内施設における消毒・三密対策の徹底に加え、入構管理においては、健康相談室特設ブースを設置し、保健師常駐態勢の下、サーマルカメラ等による水際対策を強化いたしました。②教育研究に必要な不可欠な学内施設である、図書館、PCルーム、キャリアセンター、学習サポートセンター、教職実習センタ

ー、ラーニング commons等の利用開放をいたしました。③4月から延期しておりました健康診断も、7月から8月の計6回の土日を利用し、分散登校・教室分散を施し、約1800名の方に無事受診いただきました。来校に不安のある学生の方には外部医療機関で受診した場合の補助金をご用意いたしました。また、不安がある学生の方のために、健康相談室と学生相談室における一層のサポート態勢を敷いております。最後に、9月以降のⅢ期については、後期の授業は、教職・実習等資格要件に関わる授業を優先的に対面授業とし、それ以外はオンライン開講としました。対面促進の観点から、各学科主催のガイダンスの実施にも取り組んでおります。公認部団体の活動も許可制で開始され、シャトルバスも再開し、キャンパスに学生の皆様の姿を拜見できるようになり、教職員にとって何よりの喜びです。後期授業受講マニュアル整備や学費相談窓口設置等を通じ、学生の皆様の利便に一層資するよう工夫を凝らしていく所存です。

次年度は、十分な感染防止策を施し、可能な限りの対面授業を推進する方針です。

引き続き皆様のお力添えを賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

〈2020年新型コロナウイルスに関する時系列表〉

	Ⅰ期：3月～5月	Ⅱ期：6月～8月	Ⅲ期：9月以降
主な大学行事 (×は中止)	<ul style="list-style-type: none"> ×卒業式 ×入学式・オリエンテーション ×オリエンテーション合宿 		<ul style="list-style-type: none"> 9月卒業式 ×かえで祭
主な学内対応	前期授業/一律オンライン オンライン環境整備支援金の給付決定	教育施設の利用開放 健康相談室特設ブース設置 健康診断実施	後期授業/対面とオンラインの併用 オンライン保護者会 公認部団体活動再開(許可制)
政府等の動き (×は中止・延期)	緊急事態宣言発出(4月) 文部科学省『学生支援緊急給付金』制度 緊急事態宣言解除(5月)	×東京五輪・パラリンピック延期 GoTo トラベルキャンペーン開始	入国制限措置緩和
コロナ累計感染者数 (世界/日本)	4月上旬 (100万人超/3,000人超)	6月上旬 (600万人超/16,000人超)	11月下旬 (5,800万人超/13万人超)

オンライン授業移行の
困難と対応

国際社会学部 国際コミュニケーション学科教授
平体 由美

新 新型コロナウイルスの社会的影響拡大の中で、東洋英和女学院

大学は2020年度、原則として授業をオンラインで実施し、どうしても対面で実施しなければならぬ科目のみ後期よりキャンパスで開講するという方針で授業を執り行いました。オンライン授業への移行決定が新年度に入った直後だったため、さまざまな混乱が予想されました、実際に少なからぬトラブルが発生しました。しかし、「学生の学びを止めてはならない」を合言葉に教職員が一丸となり、5月13日より前期を開始する運びとなりました。

オンライン授業化で大学が直面した困難は、教職員のみならず、学生のコンピュータスキルや通信環境もまちまちであったこと、学修や学生生活を支えるさまざまな部署——図書館、ブックセンター、食堂、チャペル、学生相談室、キャリアセンターなど——もオンラインへの対応を迫られたこと、大学が発信する情報が学生になかなか伝わらず学生の不安が高まったことでした。とりわけ、大学を知らない新入生をどのよ

うに大学での学習に適応させるかは、教職員の大きな挑戦となりました。授業については、教務委員会とFD委員会の連携により、オンライン授業の組み立て方やオンライン学習支援システムの使い方などの講習会を複数回開催し、またメールによる相談窓口を開設することによって、教員の混乱を最小限に留める努力がなされました。また学生に対しても、各学部学科と学修支援委員会が中心となり、ガイダンスと相談に対応しました。

学生と教職員双方がそれなりにオンライン授業とその運営に慣れた現在、対面でのコミュニケーションが大学の重要な価値を構成していたのだということを、より一層意識させられています。これまでの活動に関する評価と反省をもとに、今後も学生の学修と大学生生活の充実に尽力していきたいと考えます。



オンライン授業の準備風景（フレッシュマン・セミナー）

パイプオルガンの
オーバーホールが行われました

2

2020年6月29日から7月30日まで、礼拝堂パイプオルガンのオーバーホールが、このオルガンのメンテナンスを受け持つ株式会社マナオルゲルバウにより行われました。礼拝堂のオルガンは米国ノアック社制作で、1993年に設置されました。日常の礼拝、チャペルコンサートやクリスマス礼拝といった大学行事、学生オルガン講習会、生涯学習講座等に用いられ、今年で設置28年となりました。数年前よりオーバーホール（楽器を解体し、細かな点検や調整、補修、耐震補強、オルガン内の清掃を経て再度組み立てをすること）が望まれ、ついに施工となりました。

まずはオルガンの周りに足場が組みまれ、パイプが1本ずつオルガン本体から取り外されました。本学のオルガンには人の身長を優に超える長さのパイプからお箸サイズのものまで、計1154本のパイプがあります。取り外されたパイプには、内部のホコリ除去作業やゆがみの補正、耐震補強等が施されました。並行して、空洞となったオルガン本体の掃除機掛けや、足元にある鍵盤を照らす照明をLED対応にするといった



右/オルガンの周りに足場が組みまれ、パイプが次々に外されていきました
左/ふいごの補修に使用するテープを丁寧に調整しています

工事も行われました。

それらの作業が終わるとパイプが再びオルガンに戻され、本学の礼拝堂に合わせて整音（音の調整）がなされました。最後に学院オルガニストの武田ゆり先生に生まれ変わったオルガンを実際に弾いて確認していただき、作業完了となりました。オーバーホールはその多くが職人さんたちによる手作業で行われました。

現在はコロナ禍ということもあり、礼拝堂に集うことが難しい状況ですが、リフレッシュしたオルガンが音楽をますます豊かに響かせ、神を賛美する楽器として用いられることを願います。

ユニークな
「わたしプラン」

小学部長 山本香織

小 学部が2020年度のために定めた教科教育研究目標は、「だれもがユニークなわたし」です。

この研究目標は各教科の次年度の指導に備えるために、前年度中に定めるものです。

ユニークとついでである、とマイナスなイメージを持たれやすいですが、本来は「唯一」ということであり、誰もが神により造られたたった一人のかけがえない存在である、という意味を持つ素敵な言葉です。

そこで小学部では、一人ひとりが「ユニークなわたし」であることを宝物のように愛おしみ、本来持つ固有の考え、力、ペースを、最大限生かす教育を行いたいと考えました。実は一定の時間割により一斉に進められる授業の中で、これらを目指すことは容易ではありませんが、各自が自分、そして他者の大切な「ユニーク」に気づき、学び合うことで成長してほしいと準備を進めておりました。

そこに新型コロナウイルス感染症のため休校による新年度の始まり、というかつてない事態が起きたわけです。しかしこれは逆に、一人ひと



右/毎日繰り返し練習し、空手の難しい形に挑戦中(2年生)
左/自分で調べたレシピを書き写し、計量からすべて一人でやるお菓子づくり(3年生)

りに固有の時間がたっぷり与えられるということ。もしかしらその環境の中で、むしろ私どもの目指す「だれもがユニークなわたし」が進められるのではないかと考えました。そこで4月当初より、一人ひとりに定めてもらったのが「わたしプラン」です。もちろん各学年、各教科から自宅学習期間中の課題は出ましたが、それは別に子どもたち自身が考え、決めるもので、「宿題」ではなくテーマもやり方も自由です。

感染症の不安と緊張の中ではありませんが、休校中にたくさんの素敵な「ユニーク」が育ったのでいくつか紹介いたします。

- 1年生
「なわとびの達人になる」
「手話を学ぶ」
 - 2年生
「お料理名人(昼のメニュー担当)」
「もらった人が喜ぶ絵を添えて手紙を書く(みんなずつと家から出られないから)」
 - 3年生
「日本地図博士になる」
「マラソンと読書」
 - 4年生
「将棋の棋力をあげる」
「ウクレレにチャレンジ」
 - 5年生
「クロスステッチに挑戦」
「お家のシェフになる」
 - 6年生
「新聞スクラップを毎日する」
「家の園芸担当大臣になる」
- おうちの方も「わたしプラン」をたくさん応援してくださいました。
- *おうちの方の声より**
- 「世界も日本も大変な状況ではありますが、やりたいことをとことんできる特別な時間をいただいたと思っております」
- 「自分の力をすこしずつ伸ばしながら大きなチャレンジができる機会となりました」
- 「大変な時期ではありますが、小学

生だからこそ、勉強だけでなくいろいろな体験をすることで心豊かに成長してもらいたいです」

「一人でやろうとする行動力に感じ、成長を感じています」

「自分と向き合うことで、自分のことが分かる機会になっているように思います」

「普段は倍速で時が流れているので、将来あの頃楽しかったね、と言えるように家族で大切に過ごしています」

小学部の子どもたちは、持ち前の元気が明るさで、思いがけず与えられたかけがえない時を、結構刺激的に、有意義に過ごしたのではないかと思います。



右/姉妹で教会バザーへの献品をたくさん制作中(2年生・4年生)
左/毎日の報道による不安な気持ちや、友だちと会えないさびしさが、お琴の音色によって落ち着くそうです(5年生)

動画のお便りを見ながら踊っている様子



前を向いて

担任 中村友紀

2 2020年は、かつてない出来事の中、新しい年度を迎えました。4月から約2ヶ月休園が続き手紙やメールなどを各家庭に送り

ましたが、幼稚園側から一方通行なお知らせが多くなり、言葉のやりとりも大切と感じ、電話をかけることにしました。自分の組も担任の名前も知らない状況でしたので、まず担任から挨拶をし、子どもの声を聞き、「ご家族の心身の健康状態を確認しました。体力を持て余している子ども

の相手で疲れた様子の保護者の方もいらっしやいましたが、シートでテントを作りかくれんぼをしていたり、朝早くに起床して散歩をしたり、ペラペラにレジャーシートを敷きキャンプごっこをしたりなど、さまざまな工夫をして過ごされている様子でした。そのほかに、神様にお祈りをしていてという声も聞かれ、神様の愛のうちに過ごしていることを幸いに思いました。

また、幼稚園を楽しみにしている子どもたちのために休園中でもできることを教師全員で考えました。担任から子どもたちに向けた手書きのメッセージ、おすすめ絵本紹介、手作り石鹸、教師手作りの「幼稚園すごろく」「スリーヒントゲーム」(字

のないカルタ)などを配付しました。また、幼稚園の様子を伝えるために動画を10回配信し、春の庭の様子や、親子でも楽しめる遊び(手遊び・踊り・小麦粉粘土作り)を紹介しました。三密を避けつつ新しい生活様式を取り入れ、子どもたちが安心して楽しく過ごせるような対策や工夫を、6月に始業となりました。各家庭で検温し、登園時に担任に体温を伝え、ご家族の体調なども伺い、子ども



教師手作りの幼稚園すごろくを楽しむ子どもたち

たちは手を洗ってから身支度を始めます。庭で遊んだ後は、距離を保ちパーテーションを使用し、おやつやお弁当をいただきます。クラス集まりも、三密を避けてホールで踊ったり、ゲームをして楽しい時を過ごしています。

久しぶりの幼稚園で少し緊張している子どもや、保護者と離れることに不安を覚える子ども、やっとな遊べることが嬉しくて興奮気味な子どもなどさまざまでした。しばらくはクラス半数ずつの分散登園となり、「○○ちゃん元気かなあ?」「今日は、○○ちゃん幼稚園にくるの?一緒に遊びたいな」と友だちの事を気にかける姿が見られました。気温も高くなり、外出を控えていた子どもたちの体力面を考慮すると共に、外遊びの際には熱中症対策のための日よけのタープの下で、すのこを敷きま

ごとをしたり、三輪車を走らせ屋外での遊びを楽しんでいました。自分のやりたい遊びに取り組み子どもたちの姿は生き生きと輝いて見えました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、楽しみにしていた行事は中止や延期となりました。泊行事や秋のりんご園遠足のかわりに、年長組だけが登園する特別な日を設け、朝から夕方まで幼稚園で過ごし、キャンプファイヤーなど、普段の遊びの中では体験できない特別な時間を過ごしました。

大人にとっては、環境が変わり不便に思ってしまうかもしれませんが、子どもたちは今できることの中で何をしようかと、心を弾ませながら「たのしい!」を存分に感じています。子ども一人ひとりのありのままの姿を見て、何を感じているのか、何をしようとしているのか、子どもたちの心の動きをこれからも大事にしたいと思います。このような状況下においても共に育つ喜びを覚え神様に感謝しています。この「楓園」を手にとっていた頃にはどのような状態になっていたのでしょうか?見当もつきませんが少しでも安心することが増え、世界中の人々が希望をもって明るい明日へとつながっていますようにと祈ります。

大学付属かえで幼稚園

上/2020年秋、新型コロナウイルスの感染予防をする中、子どもたちは喜んでそれぞれの遊びを楽しんでいます

下/林園中に幼稚園から各ご家庭に送っていた「かえでだより」より



祈りながら、信頼をつなぎ、
楽しみを蓄えた日々

緊 急事態宣言により休園となつた2020年3月から5月は

子どもたちにとっても保護者にとっても卒業・入園・進級の春であり、希望と共に緊張が入り混じる季節でした。私たちは、感染状況の先が見えない中であつて、「この期間を家庭で過ごす親子が、神さまに守られていることに安心し、また園の保育者たちとのつながりを感じながら、家族とともに落ち着いて喜んで過ごせますように」と願っていました。そして毎朝、教職員の祈祷会を続け

ました(在宅勤務の日はオンラインで祈りを共有しました)。

かえで幼稚園では、休園期間に園と家庭とを結ぶツールとして、あえて手紙による通信を大切にしました。毎週毎週A4サイズの茶封筒やレターパックに、親子への思いを込めてのさまざまなものを入れて、家庭へと投函し続けました。

例えば：担任から子どもへのカード(季節を感じさせるものや、イラストカードや母の日カード等)・保護者への確認や励まし合いの言葉と親子の生活のヒントを書いた手紙・聖書のみ言葉からのメッセージ・遊びのヒント・草花や虫のこと等、春の自然の楽しみ方・子どもが手作

業をするための素材・いのちの芽生えを楽しむための種とコットン・毛糸で編んだあやとりの紐・さんびかの絵本・クレヨン・幼稚園の住所を書き入れた返信用のハガキ：そして「かえでだより」と称する便りを入

れました。「かえでだより」には、先生たちの紹介や、毎週変化する春から初夏への園庭の様子や、先生たちが保育再開に向けて楽しみながら準備していることや、絵本や歌の紹介、園にいるダンゴムシやカメの物語等を写真や絵と共にプリントにしました(5月になった頃には、3月に卒業し小学校の入学式を待つて過ごしていた新1年生たちにも手紙を出しました)。

茶封筒の中身を作る作業には時間も手間もかかりましたが、そのことが私たち教職員にとつても心の支えと新年度の保育への備えになりました。ゴールデンウィークの頃に各家庭に電話をし、保護者の方とひとときの対話の時間をもちました。その折に多くの方から「子どもと一緒にポストをのぞき手紙を待つことが毎

週楽しみでした」、「幼稚園とのつながりを感じています」、「伝えていた言葉を心にとめて生活リズムや遊びを大切にしようと思います」等のお声をいただき、一方通行ではないことを感じていました。

昨年6月に保育が再開された時、子どもたちの動き出す姿に数か月の空白を感じさせられなかったのは、各家庭での子どもとの時間(生活や遊び)が守られていたからだと思いますし、毎週送った通信によって育まれた信頼と楽しみがあったからだとも思っています。

6月からは、感染予防に配慮しての保育を重ねています。マスクや消毒、三密の回避などいつもと違う日常ではありますが、子どもたちは例年と同じように礼拝を守り、保育室でも庭でもホールでも心と身体を動かして遊び、人と関わりながら体験を重ねる幼児期を生きています。今を喜んで過ごしている子どもたちを見ていて、私たちはあらためて何が大切かを確認しています。また保護者のご理解とご協力の中で、今年ならではの保育が生まれていることは、大きな恵みです。「コロナ禍だから仕方ない」と思うのではなく、新型コロナウイルスの感染予防をしながら与えられる時間を感謝し、祈り合いながら、子どもとの豊かな日常を創り出していききたいと思えます。

同窓会／後援会

同窓会会長
就任にあたって



矢野 久美子

いま、世界は大きな混乱と悲しみの中にあります。同窓会も交わる事集う事が許されず、思ってもいなかっただけしい状況に置かれました。本年度の同窓会総会は議案送付にて行い会員の皆さまのご承認をいただき会長として用いられる事になりました。

同窓会は大曲がり角に来ております。伝統と歴史を大切に思う東光会、法人化を目指す大学の楓美会、やむなく休会を模索する旧短大3会それぞれにふさわしいお役目が与えられるように考えてまいります。6年間勤められた山北前会長より引き続き重責に身の引締まる思いでおります。貧しい器ではありますが、きっと神様が最善に導いてくださると信じて祈りながら進めていきたいと思っております。神を思い、人に仕える度しい同窓会でありたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

同窓会会長
退任にあたって



山北 千世

東洋英和女学院同窓会会長の責任を矢野新会長にバトンタッチさせていただくことができました。嬉しい出会い、喜びの出会いを沢山いただいた6年間でした。欠けの多い器にもかかわらず沢山のお支えを受けたことを只々、感謝するばかりです。遠大な希望と一途な神様への信頼のみで我が国の女子の命をかけてくださった「敬神奉仕」の方々の熱き想いは今も「敬神奉仕」に込められています。こんな混乱の中に置かれても、内なる心は神様を見上げつつ、外なる事柄には仕える心で打つ手を考えていっていただきたいと思います。英和生の大好きな讃美歌「愛のわざは小さくても神の御手はたらいて」を歌いつつ、東洋英和女学院のすべての働きの上に、学院同窓会の歩む道の上に神様の御手が豊かに注がれますようお祈りいたしております。

後援会会長
就任にあたって



牧 健太郎

この度、長きにわたって後援会活動を支えられた小泉会長の後任として、学院からのご推薦と役員会での承認を賜り、後援会会長の大役を仰せつかりました牧と申します。

東洋英和女学院後援会は1929年に校地拡張・校舎新築事業を支援するために発足し、現在では幼稚園から大学の保護者で構成する大きな組織となりました。また「楓の会」を通じて東洋英和に縁を持つ全ての方々と目的を同じくして学院の発展を支える組織でもあります。

六本木西地区再開発事業も道半ばであり、遠隔授業や分散登校などの新たな課題も生じる中、子どもたちの教育環境整備等を支援する後援会の役割は多様化しつつあります。

後援会員の皆様には後援会活動に対する従前のご理解とご協力を感謝申し上げますとともに、今後の変わらぬご支援をお願いし、会長就任の挨拶とさせていただきます。

後援会会長
退任にあたって



小泉 光人

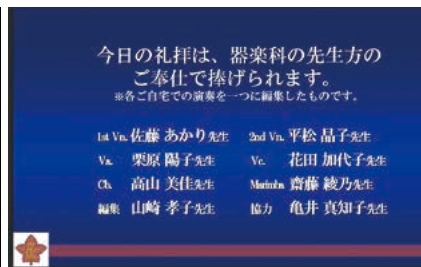
この度、娘の卒業とともにお役目のたすきを牧会長にお渡しする事となりました。後援会員の皆様、特に歴代常任役員と学院事務局の皆様の大なるご協力により後援会運営を全うする事ができ、深い感謝とお礼を申し上げます。学院をとりまく環境の変化は、少子化や六本木西地区再開発など予期できるもの、そして新型コロナウイルス流行など予期できないものも含め、学院に柔軟で賢明な対応を求め続けているように見えます。後援会はそうした変化に対応し、学院をお支えする環境を整えるため、後援会員の評議員会への参加や楓の会の更なる拡充を学院と共に行ってまいりました。今後こうした種が、少しでも学院が将来にわたって学院に関わるすべての人の安心と誇りを紡いでいく場所となり、神に愛され友と師と充実した毎日を過ごす娘たちの東洋英和での時間の支えになることを祈念しております。

み言葉に支えられて

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、各部でもさまざまなことが変更、延期、中止せざるを得ない状態となりました。今でも予断を許さない状況が続いています。そのような不安の中で、私たちの心を支え、励ましてきたものがありました。それは、聖書のみ言葉です。今回は、2020年3月から各部がどのようにみ言葉を発信し支え合ってきたか、また、このような事態だからこそ選ばれ、伝えられたみ言葉などをご紹介します。



学院宗教部長 高橋貞二郎先生



ホームページに掲載された礼拝動画です。5月第5週目は器楽科の先生方、翌週は高2の生徒有志のピアノとヴァイオリンによる演奏の奉仕がありました。(演奏は各自が自宅で演奏したものを一つに合わせたものです)

※遠隔授業期間の礼拝動画はホームページからご覧いただけます。(中高部ホームページ→カリキュラム→キリスト教教育)

中高部

毎朝の礼拝動画配信を中心として

中学部・高等部は4月から約2か月間、自宅学習を行うこととしました。具体的には、普段の学校生活で大切にしているキリスト教教育である聖日礼拝出席、朝の礼拝、聖書科の授業などを自宅学習(休校)期間でも継続できるように次の三つの対応を行い、ホームページとGoogle Classroomにアップしました。

1. 聖日礼拝を自宅からネットを通して守ることができるよう、ネット配信をしている教会のリストを紹介。
2. 毎朝学校での礼拝を通して心を神様に向け、聖書の言葉を通して生き方(一日の生活)を考える時間が持てるよう、新学期の初めから、朝の礼拝動画(前奏、聖書朗読、ショートメッセージ、祈り、後奏)を配信。
3. 聖書科の学習のために、学校からの宅配便により副教材と課題プリントを送り、課題の説明や解答を動画で配信。

中学3年生では、1学期の終わりに聖書科の授業で「1学期を振り返って神様に感謝したいこと」を書く時間を設けました。休校中のキリスト教教育についての感想を書いた生徒がたくさんいましたが、その中からいくつかを紹介します。

私が神様に感謝できることは、コロナウイルスが流行している中でも学校と再開に向けて導いてくれたことです。また、オンライン授業がいつまで続くかわからない不安や友達と会えないという悲しみがありましたが、毎朝、パソコンで礼拝を聞くと、安心できたので神様に安心してくだされたことに感謝しています。

宇田川真生さん

一学期はコロナウイルスが流行して、学校に行けなかった日々が続きとても不安でした。しかし、毎朝の礼拝の動画で神様と向き合うことで落ちつくことができました。心にやすらぎも与えてくれたことに感謝しています。

池田兼央さん

田中日菜さん

新型コロナウイルスで学校が休校になり、友達に会えず、肝にも行けず、気が立ってしもうこともあつて、毎朝礼拝をして聖書の言葉を聞くと、不思議と心が落ち着いて、平日1日がんばろうという気になれるように毎朝礼拝を感謝しています。

梅村おさん

新型コロナウイルス感染症対策により突然の休校となり、休校中に行けなかった学校に居るのかわからない不安や感染の恐怖などで気持ちの乱れがあった。しかし、ホームページにアップされる毎朝の礼拝動画や自己肯定する礼拝動画により、勇気をもらい心落ちつかせることができた。

大学

オンライン授業と オンライン礼拝の試み

大学では5月13日よりオンラインで新年度の授業開始となりました。それと共に、週毎に礼拝動画を配信する「オンライン礼拝」も開始しました。

教職員が礼拝説教、オルガン奏楽、動画編集、短文執筆等の役割分担をし、完成した礼拝動画を学内のポータルサイトに掲載しました。学生・教職員がその週の内であればいつでも視聴ができるようにしました。時間・場所を問わずに礼拝を守ることが可能ということはオンライン礼拝ならではの利点です。

大学は後期もオンライン授業とオンライン礼拝を継続しています。礼拝堂に集って共に礼拝を守ることができる日を待ち望みつつ、今年度残りの礼拝も守っていきます。

神様の計らいによって

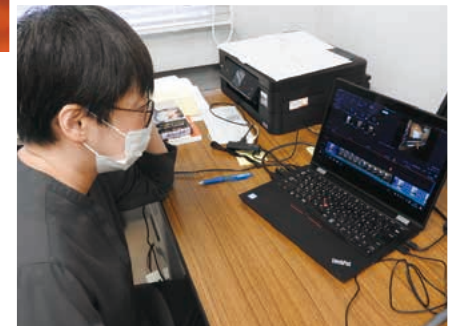
東洋英和女学院大学 後期第3回オンライン礼拝
(2020/09/28-10/02)

説教：伊勢田奈緒 学院宗教部長

奏楽：武田ゆり 学院オルガニスト

上/説教は伊勢田奈緒学院宗教部長、奏楽は武田ゆり学院オルガニストが担当。その他にも何名かの教職員が短文執筆・週報作成を担当しました。

下/動画編集は前期は国際社会学部国際コミュニケーション学科の平体由美教授、後期は同学部国際社会学科の堀川敏寛講師が担当。



さんびかの絵本と手作りカード

大学付属かえて幼稚園

家庭と園とが、聖書からのメッセージを分かち合った時

休園期間は毎朝、教職員間で同じ聖書の箇所を読み、子どもたちが安心して過ごせますようにと祈りを共にしていました。家庭とは手紙のやりとりの中でイエスさまとつながっていることを感じられるように願って過ごしていました。子どもたちにはみ言葉の書かれたカードを折に触れて送りました。保護者には聖書に基づいてのイースターのメッセージや母の日のメッセージを伝えました。また、キリスト教保育連盟発行の『ともに育つ』というさんびかの絵本を送ったことにより、親子でさんびかを歌う時間が生まれたとのことでした。

小学部

全校礼拝のある水曜日とクラス礼拝のある金曜日にみ言葉を配信

小学部では休校期間中、時間割に合わせて、全校礼拝のある水曜日とクラス礼拝のある金曜日に、み言葉を配信しました（文字と画像だけ、あるいは音声付き）。

「5月の聖句」の日のメッセージです。

「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。」(コロサイの信徒への手紙 3章 16節)

「3密」がほぼ小学部だったのに、今は、それはいけないことです。こんなときこそイエスさまと「3密」です！ イエスさまはわたしたちの中に宿って、「3密」でいてくださるお方です。どんなことがあっても安心ですね。

イエスさまと3密



東洋英和幼稚園

月の便り「かえて」に聖句とメッセージを添えて各家庭に郵送

4月から6月7日までの休園期間、月の便り「かえて」に大切にしたい聖句とメッセージを添えて毎月各家庭に郵送しました。

イースターには、教会に行くことができない子どもたちに向けて、絵本『こどものいのり』の中からイースターのページを朗読し、動画配信をしました。

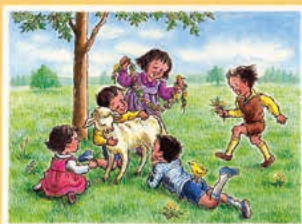
“かみさま イエスさまは いまも いきていらっやいます

なんて すばらしいことでしょう

イエスさまのあとにしたがう こどもに してください”

例年は、近隣の教会に毎週のように通っている子どもたちですが、今年度は残念ながら通常通りではありません。そこで、子どもの礼拝(教会学校)のライブ配信をしている教会に了解を得て、「かえて」にHPのURLを掲載させていただきました。感謝しています。

こどものいのり



文 船水弘毅 絵 木下節子

教員紹介

—何を教えておられますか？

ずっと社会心理学を教えています
が、30年のあいだに、自分の研究関
心の展開にもなっており、研究の重点
が、リスク心理学—組織心理学—認
知療法と、すこしずつ変化していま
す。ここ15年ほどは、認知療法のひ
とつであるNLP（神経言語プログ
ラミング）という手法の有効性を実
験的に検討するのがゼミの課題にな
っています。災害PTSDやパワハ
ラ、就職面接の連続などで受けた心
の傷を緩和するNLPの手法を学生
に習得させ、学生がそれらの有効性
を実証するスタイルの研究をして
います。

ほとんど毎年大学院に進学する学
生が出ますが、実業に進む学生も、
就職後に非常に役に立つと言ってい
ています。

—東洋英和にどのような思いを持っ
ておられますか？

1988年に大学設置準備室員
を主務とする短大専任講師として赴
任し、大学を設置するための準備と
文部省との折衝をフルに経験しまし
た。その後、大学院の設置書類も主
なところの執筆をしました。結局、
定年まで奉職させていただくことと
なりましたが、現在の大学事務室の
課長さんの多くも開学時からの仲間
で、ここで一緒に年を取った朋輩だ

▶▶▶ 学生からのメッセージ



人間科学部
人間科学科心理学専攻4年
本多 美帆さん

岡本先生は、第一印象は厳しそうで
すが、講義を受講してみると、知的
なユーモアに富んだ方で、心理学の
面白さを教えていただきました。学
生一人ひとりをよく見ている学生想
いの先生です。大学院の受験先を決
めるときも、私が読んでいた論文を
全て読んでくださり、進学先と指導
教授探しを手伝ってくださり、さら
にその大学院にいろいろな問合わせ
をして指導をしてくださいました。
父より厳しく母よりあたたかい
大恩人です。

Koichi Okamoto

生涯の職場



大学

人間科学部人間科学科

岡本 浩一 教授

オレゴン州アストリア高校と京都の洛星
高校を卒業して東京大学の理科一類に進
み、社会心理学専攻に転じた。東京大学
社会学博士。1988年に本学短期大学専
任講師・大学設置準備室員、1989年よ
り人文学部助教授。1997年から人間科
学部教授。茶道を修め、裏千家淡交会巡
回講師も務める。他に、NLPマスター・
トレーナー。



裏千家茶人・茶
書執筆家として
も著名。『一億
人の茶道教養講
座』が代表作。

という感覚を持っています。開学時
には背の低かった木々も堂々とした
林になり、ここで過ごした年月を感
じさせてくれます。

大学設置以来、図書館整備を主務
のひとつとしてきました。東洋英和
の図書館は、この規模の大学の図書
館としては全国レベルでも評価が高
く、学生の満足度も非常に高いのが
喜びです。「よい図書館」というのは、
(a) 資料の質と (b) サービスの
バランスが良いということですが、
バランスの良さというのは多面的で
難しい要素で、結局はある種の「セ
ンス」になってしまいます。センス
の良い司書、教員のセンスの良い図
書要求がそろって初めて実現するも
ので、アカデミック・コミュニケーション
そのものの反映です。

—英和生に望むこと

アクセクしない大らかな学生が多
く、ずっと接してきて癒されたり教
えられたりすることの多い年月でし
た。社会に出たり、大学院に進んだ
りすると、高い要求水準に鍛えられ
ながら大人としての成長をしていく
のでしようが、そのなかにも、学部
時代の大らかさをときどき思い起こ
して大切にしてもらいたいと感じて
います。そのほうが、物事の本質を
見失わずにすむからです。大らかさ
は巨きさに通じると思っています。

—東洋英和女学院との出会い？

私の母は、高等部の卒業生です。私は幼い頃から、母に「東洋英和はええわ」と言われて育ちました。ですから私は、幼い時から東洋英和を知っていました。「息子が、女の子だったら絶対に東洋英和に入れる」と言われて育った私は、1995年に、小学部に赴任することになりました。いちばん喜んでくれたのは、母でした。

—忘れられない英和生のこと

当時3年生だったA子ちゃんは、長期入院をしていました。私がお見舞いに行くと、A子ちゃんは、少しはにかんだ顔をして微笑んでくれました。ふと病室のベッドの横の出窓を見ると、けん玉が飾ってありました。「今はできないけれど、このけん玉を見ると、学校を思い出すの…」と話してくれました。A子ちゃんの代わりに私が、病室でけん玉を披露しました。技が決まると拍手喝采。その病室にいる他の子どもたちも喜んで見てくれました。いつもの病室が、パツと明るい笑顔に包まれました。「A子ちゃん、早く元気になってまた学校で、一緒にけん玉をしようね」と言って病室を去りました。けん玉が、子どもたちに元氣と生きる力を、そっとプレゼントしてくれたような、そんな気持ちになりました。

▶▶▶ 児童からのメッセージ



小学部 4年
(左) 高邑 陽美さん
(右) 津元 清さん

鈴木先生には、2年、3年生と担任をしていただきました。先生は優しく、何でもできる先生です。クラス礼拝では、さんびかをギターに合わせて歌ったり、クラスがまとまるように、週に一度学級会を開いてくださいます。また、特技のけん玉やお手玉を私たちに教えてくださり、きめ細かく優しいご指導と、「やればできる」の言葉を信じて、今もけん玉やお手玉を続けています。

Yasuyuki Suzuki

小さな目標と、大きな夢を持ってほしい

小学部

鈴木 康之 教諭

東京都生まれ。西南学院大学経済学部卒業。玉川大学教育学部通信制にて小学校免許を修得。横須賀学院小学校を経て1995年より東洋英和女学院小学部に着任。趣味は、けん玉・こま回し・お手玉・駄玩具収集・カメラと写真・ギター。月一回「子どもけん玉教室」を開催。学校教育へのけん玉の教育的意義を提唱。



2019年11月に行われた第4回けん玉選手権大会で優勝した時のトロフィーです。

—英和生へのメッセージ

「わたしの夢は、宝塚です！」教室で笑顔で夢を語る3年生の女の子…。これは教室で行った「わたしの夢」のスピーチの一場面です。小さい頃から宝塚に憧れ、そのためにダンスを習い、図書館で借りてくる本は、宝塚の本ばかり…。今、子どもたちは、何のために勉強をするのか、が分かっています。目まぐるしく変動している社会の中で、ゆとりを持って自分のことをじっくりと考える時間、そして自分の夢を追いかける時間が必要で、「小さな目標、大きな夢」を持つことによって、勉強する本当の意義が見出されてくるのではないのでしょうか。

【小学部3年 月山莉衣咲さんの日記より】

鈴木先生との学校生活で、面白いなと思ったことがたくさんあります。例えば、授業の始めにアイスブレイクをすることや、先生オリジナルの、「わくわく問題」があることや、国語の「こまを楽しむ」の説明文では、実際にこまを回してくださいます。そのため文章がイメージしやすく、よく理解できます。鈴木先生は、どんなこまでも回してくださいるので、本当にすごいと思います。

英和 FAMILY の活躍、ご紹介します！

野尻が生んだ船に生きる人



雨宮 伊作

1957年山梨県生まれ。子ども4人の父。母親は元中高部英語科の雨宮美枝子教諭。妻・娘・義姉・姪・義妹も卒業生の英和一家。東京商船大学（現東京海洋大学）卒業航海訓練所の教官として30年勤め、練習帆船「海王丸」のキャプテン（船長）を務める。現在、東京湾で巨大タンカーや客船などを誘導するパイロット（水先人）。

プロフィールからは、「海は男のロマン」を追い求めた道に見えますが、若い人が育てる喜びを見つめ続けた道だったようです。その出発点は野尻湖でのカッター（ボート）でした。

50年前、英和のキャンパスで誕生したばかりの頃、12歳の伊作少年はカッター上にいたのです。女子生徒たちと一緒に、少年には手に余る太さと重すぎるオールに持てる力の全てを懸けて、野尻湖を横断して黒姫高原へ。

この大冒険が少年の心に刻んだのは、「オールは重く大変困難であったが、力を合わせると多くの人を運ぶ事ができる」という事でした。その時のスキッパー（艇長）が長野彌院長であった事に、偶然を超えた力を感じていました。また少年の愛読書が、アサー・ランサム少年海洋冒険小説『ツバメ号とアマゾン号』であったのも、船に生きる人になるエネルギーとなったのです。時が過ぎて野尻管理の手伝いをしていた時、東京YMCAの「オメガ」が野尻湖

では最も高いマストを持つヨットであると知り、大きな帆船に乗りたいと願っている自分を見つめます。

高校卒業後、東京商船大学へ入学します。帆船日本丸や海王丸での乗船実習では、教官等を含めて160名程で、6ヶ月海上を走り続け、その内の3ヶ月は太平洋を横断する遠洋航海を実施します。少年の夢が叶いました。

大学卒業後は、学生を訓練する日本丸・海王丸の他、汽船3隻を所有する航海訓練所に教官として赴任します。30年間の教官生活の内、10年間は帆船に乗船、2年間海王丸のキャプテン（船長）の任務に就きました。

忘れ難い思い出は多いのですが、その一つが太平洋を横断中に低気圧に遭遇し、波高14mの波に追いかけられた体験です。船の一番後ろにある舵の横で、打ち込んでくる波で海に投げ落とされる危険を背負いつつ操船したので

す。もう一つは、僅かな動揺で動けなくなるほど酔いするフィリピンから来た実習生がおりました。船乗りを諦める旨を家族に伝えますと、「男の子でしょう。家族は生活を犠牲にして貴方を送り出したのに」との返信に声を



「海の貴婦人」海王丸II世

当たる古東京川と言われる深い谷の川筋だけなのです。そこで船長に代わって、東京湾内を航海し岸壁に接岸させるのがパイロットの任務となります。

タグボートで巨大船舶に接舷し、釣り降ろされた梯子を登って甲板に上がり、船長と操船を交代するのです。岸壁にタンカーを横付け

上げて泣き出し、その後はどんなに酔いしても、歯を食いしばって頑張っていました。あれから20余年が過ぎ、先日彼が、日本の船会社で船長になっていてる事を知りました。感無量です。海王丸を降り、航海訓練所を退官すると、東京湾のパイロット（水先人）に転身します。

東京湾には年間6万隻の1万吨以上の外国船舶が入出港してパイロットの乗船を要請します。30万トンの原油、10万㎡の液化天然ガスなどを積んだ巨大タンカーが日に何隻も入港します。巨大タンカーは、停めようとしても船の長さ16倍の距離は進み続けます。300mクラスだと5km近く停まらない事になります。また通行可能な水深20m以上ある航路は、墨田川の延長線上に

小さな漁船と交差する事も度々です。沿岸の漁師たちの生活の場である東京湾の環境を大切にすることも、パイロットのあるべき姿なのです。

英和生生まれ! 今回は浅草特集です!

Maple Mall



和服美人のお手伝いいたします!

コマチヘア

岩崎 有希子 (1991 年高等部・1995 年大学卒)



住所
台東区浅草 1-31-1 浅草仲見世
TEL
03-3841-5523
URL
<https://www.komachi-hair.co.jp/>



Check!

大正 14 年創業、かつら、ヘアピース、簪や舞台化粧品などを扱うお店です。普段の和装から、七五三、成人式等、ヘアスタイルのご相談承ります。試着はもちろん、お手入れ方法等もご説明いたしますのでお気軽にどうぞ。

浅草の歯科・矯正歯科

いしやま歯科・矯正歯科

石山 智香子 (1991 年高等部卒)



住所
台東区花川戸 1-2-3
浅草駅ビル4階
TEL
03-3844-1480
URL
<https://www.ishiyama-dental.com/>



Check!

浅草で3代続く歯科医院です。むし歯や歯周病、入れ歯やインプラント、子どもから大人の矯正まで、一人ひとりに合わせた治療を行っています。浅草駅直結。何でもお気軽にご相談ください。

ぬれおかき 1 本 100 円! 浅草仲見世の土産屋

仲見世モリタ 寺子屋本舗

清水 万里子 (2005 年高等部卒)



住所
台東区浅草 1-20-1 浅草仲見世
TEL
03-3841-8553
URL
<http://www.asakusa-nakamise.jp/store/pop.php?sid=25>



Check!

仲見世で、母・早苗 (旧姓森田 1968 年高等部卒) と、威勢よく、ぬれおかき、せんべい、アイスクリームを販売しています。浅草寺ご参詣の際には、気軽にお立ち寄りください。箸専門店も 8 軒先にあります。

似顔絵専門店・絵の教室も開講

カリカチュア・ジャパン 浅草・雷門店

中西 陽子 (旧姓山盛 1999 年高等部・2003 年大学卒)



住所
台東区浅草 1-19-3 (浅草・雷門店)
TEL
03-5830-7220
E-mail
info@caricature-japan.com
URL
<https://caricature-japan.com/>



Check!

似顔絵はお一人様 10 分で完成! 動物もお描きしますので、ペットちゃん大歓迎。絵の教室も開催しています! オンライン教室では世界のアニメーションスタジオ内を見られる特別ワークショップも開催中!

英和グッズを販売 ～光ワークス～



同窓会をより身近に
感じていただきたい!
という想いで活動しています

販売: 東光会を含む同窓会主催の各種行事、楓祭を含む学校主催の各種行事
グッズ種類: 制服・校章・校舎シリーズ各種グッズ、切り絵アクセサリ、
ハンドメイド一点物グッズ

私ども光ワークスは 2013 年に、当時東光会役員であった有志 7 名で立ち上げたグループです。卒業生や在校生に同窓会を更に身近に感じてもらえれば、同窓会行事の場をより楽しんでいただければという想いで活動を始めました。グッズのデザインや制作、行事での販売等、すべて同窓生によるボランティアで運営しています。生徒さんにとってもお買い求めになりやすい価格を考え設定しています。収益は東光会、学院同窓会、また、学院や学院関係の団体へ寄付をしています。英和グッズ販売を通して、少しでも同窓会と学院のお役に立つことが叶えば幸いです。

●お問い合わせ: 光ワークス E-mail: hikariworks2013te@gmail.com

制服シリーズ: メモ帳 (各 300 円)、
チャームシリーズ: バッグ (1,200 円)
デザイン: 倉屋優子 (旧姓荻田 1987 年高等部卒)

予告 村岡恵理氏の『アンのゆりかご』 英訳本が刊行されます

NHK 連続テレビ小説の原案にもなった村岡恵理氏 (1986 年高等部卒) の『アンゆりかごー村岡花子の生涯ー』の英訳本が平野キャサリン氏の翻訳によりカナダの Nimbus 社から 2021 年春 (予定) に刊行されます。この翻訳事業は学院創立 135 周年・大学開学 30 周年記念事業の一環として企画され、長年にわたる村岡花子氏の学院への貢献に感謝をこめて出版助成を行っています。



『アンゆりかご』
翻訳事業調印式にて

「それ、知ってる！」 小さな「歴女」たちがやってきた

2020年の7月13日と15日、授業の一環として小学部4年生が六本木校地本部・大学院棟にある「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」と史料室を訪れました。10人ずつに分かれての見学、展示コーナーは大人向けの展示なので小学生には少し難しいかな？と思いきや、見学が始まるなりみんな自分が気になる資料のところに突進していきます。途中のミニレクチャーの際には、学院創設者カートメル先生をはじめ宣教師の先生がたの名前を全員口をそろえて回答するなど、日頃から英和の歴史に親しんでいる様子が見え、質問もさかんです。そして、史料室では宣教師ゆかりの所蔵資料をお披露目です。ハミルトン先生の使用していた食器やブローチを見た途端、『カナダ婦人宣教師物語』に載っているよね」と鋭い指摘をする子もいれば、婦人ミッションの星型バッチを見て「カートメル先生が付けていたんだ！」と大感激する子も。小学部の文集「小羊」の昔の号を読んだり、あつという間に見学時間終了です。

ご担当の地主武史先生は「英和の子たちは近現代史と自分の学校の歴史を結び付けて学ぶことで、歴史理解が深まるのです」と語り、子どもたちが学ぶ姿を見守っていました。



カートメル先生の渡航用トランクをじっと見つめる子どもたち（展示コーナーにて）

- 「史料室だより」No.95では、2020年に50周年を迎えた野尻キャンパスサイトの特集記事を掲載しています。右記のURLもしくはQRコードからご覧いただけます。<https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>
- 史料室 TEL：03-3583-3166 / FAX：03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



中高部、大学より

中高部および大学が、生徒や学生を支援するための制度をそれぞれ設立しました。皆様からのご寄付をお願い申し上げます。学院ホームページよりお申し込みください。

<https://www.toyoeiwa.ac.jp/donation/apply.html>



中高部

「村岡花子基金」

【寄付の目的】

寄付により「村岡花子基金」を設立し、そこから給付型の「村岡花子基金」奨学生の採用を目的とします。

【寄付の内容】

「村岡花子基金」奨学生とは、東洋英和女学院中学部・高等部で学びたいにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症による緊急事態下で経済的理由により、受験を断念しようと考えている児童家庭に対して、入学金授業料等を免除する給付型奨学生です。また、在校生においても保護者の経済状況が急変し、就学継続が困難な生徒に対しても、給付型の臨時奨学生として採用を行います。



大学

「新型コロナウイルス対策 学生修学支援募金」

【寄付の目的】

新型コロナウイルス対策
学生の修学支援のため

【寄付の内容】

新型コロナウイルス感染症再拡大にも備え、本学学生の修学機会や環境に著しい違いが出ないような対策を施すことにより、すべての学生が安心して学生生活を送ることができるよう、引き続き最大限の努力をさせていただきます。皆様方のご寄付を心よりお願い申し上げます。

